

個人質問

しんわかい  
津和会

あおき ひであき  
青木 秀晃

録画映像



問 個別防災ラジオの導入について問う

既設の防災無線は、家屋の気密性の高まりもあり聞き取りにくい、それを途絶しやすいネットで補完・冗長化するのは現実的ではなく、高齢者等のネットになじみのない人々にこそ、確実に避難情報を周知する必要がある。そこで、ポケベル電波を利用した個別防災ラジオであれば、聴覚障がい者に文字情報を伝達することもでき、避難誘導に有効であるため、導入を検討してはどうか。

答 システム全体を見直す段階で検討していく

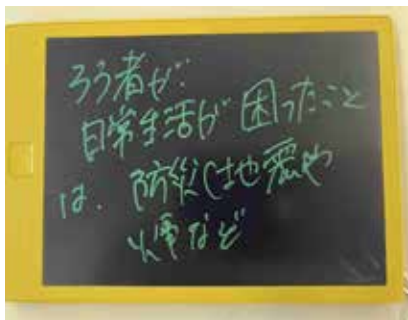
災害発生時には、インターネット回線が使えない場合も想定しており、同報系防災行政無線のほかに、これを補完する電話応答サービス、緊急告知ラジオ、ZTVの行政チャンネルでの画面表示、緊急速報メールなどいくつかの情報伝達手段を用いている。

ポケベル電波を利用した防災行政無線システムの導入については、システム全体を見直す段階で検討していく。

その他の質疑・質問

- 避難所でのスポットクーラー運用の現実性は
- 避難所となるスポーツ文化振興部所管の体育館の空調について
- 災害時の給水確保、災害時協力井戸について
- 工場立地法の緩和と工業団地の誘致について
- 津市産米の輸出について
- 作業療法士の学校現場での活用について

ろう者が記した、  
自らが抱える不安



個人質問

つし そうせい  
津市創成

やまじ さゆり  
山路小百合

録画映像



問 休日保育の定員数拡充を

年々、社会的に女性活躍が推進されると同時に、生み育てやすい地域を目指し、働く母親の育児環境の充実にも目を向けられている。また、休日に就労されている方も多く、休日保育は定員以上の利用希望がある。現在、津市の定員上限9人に対して、四日市市は30人だが、定員を拡充する考えは。

答 保育事業者と相談しながら、方策を検討していく

本市で休日保育を実施している、つまちなか保育園に対しては、これまでも実施体制拡大について相談してきたが、職員配置が課題となっている。休日保育のニーズを踏まえ、潜在保育士の再就職支援を実施しており、これに加え、今年度から、津市保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業を開始し、保育士等を確保するための取り組みを進めている。

今後も保育事業者と相談しながら、休日保育の提供体制拡大の方策を検討していく。

その他の質疑・質問

- ホームページ更新事業について
- スポーツ施設における暑さ対策について
- 災害時応援協定について
  - 有事の際に適切に機能させるには
  - 総点検・見直し・更新について
- 歴史資料の保管について
  - 津波被害を想定した災害対策について

津波浸水予測区域にある歴史民俗資料収蔵庫の移設を

